

## 資料 4

西東京市公民館運営審議会  
令和5年度第10回定例会

## 令和5年度 公民館主催事業報告書

公運審提出日 令和6年3月20日

	実施館	事業名	期間・回数	参加者数	実施内容	主な講師等
1	田無	小学生親子料理教室 子育て中の男性あつまれ♪ パ パッと、ごちそうレシピ ～親子でたのしくクッキング！ ～	令和5年9月18日 月曜日・祝日 11月3日 金曜日・祝日 12月2日 土曜日 令和6年2月23日 金曜日・祝日 9時30分から12時30 分 全4回	延べ106人	子育て中の男性と小学生の親子が一緒 に他の親子と協力しながら料理をし、 一緒に食べる体験を共有した。	吉田朋子（管理栄養士、エコ クッキングナビゲーター、 キッズキッチンインストラク ター）、 【アシスタント】 糟谷礼子（栄養士） 大場満枝
2	芝久保	暮らしに役立つ実学講座 ライフスタイルにあう片づけ	令和6年1月17日 1月24日 水曜日 10時から12時 全2回	延べ37人	・現在のライフスタイルをみつめて自 分に向き合い、片づけの目的を明らか にする機会になった。 ・どのように整理収納をしたいかは人 それぞれ違うこうことを知り、自分 に合った整理収納の方法を知る機会 になった。 ・どんな目的と工夫で整理収納を行っ たかを参加者で共有することで、幅広 い年齢のそれぞれの価値観にふれる場 を提供することができた。	村田美智子（整理収納アドバ イザー）

3	芝久保	防災講座 子どもたちと楽しく身に付け ちゃおう！ 災害を乗り越える 力	令和6年1月21日 2月4日 2月18日 日曜日 10時から12時 全3回	延べ39人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輪島市に支援に入っている講師から被災地の状況について報告を受けた後に、すぐに実践できる災害への備えを子どもからシニアまで協力して学んだ。</li> <li>・阪神淡路大震災で被災経験のある講師から避難生活での食の大切さを学び、無駄のないストックの仕方や水や電気、ガスが止まっている際の調理について実習をしながら学んだ。</li> </ul>	小野修平（防災アドバイザー・ジョージ防災研究所代表） 鈴木佳代子（防災クッキングアドバイザー）
4	芝久保	【共催事業】 親子おたのしみ企画 ドキ土器考古学 縄文人のおうち探検と土器作り に挑戦 ※社会教育課との共催	令和6年2月17日 土曜日 10時から12時 2月23日 金曜日・ 祝日 9時30分から12時30分 全2回	延べ18人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下野谷遺跡公園に復元された竪穴住居の中で柱や屋根の作りを見学し、縄文人の知恵や工夫を学んだ。</li> <li>・縄文土器がどのように使われていたのかを学び、オリジナルの縄文土器作りを体験した。</li> <li>・縄文人の家族や暮らしを想像し、私たち現代人との違いやつながりを親子で考える機会を提供した。</li> </ul>	亀田直美（教育部社会教育課文化財係、学芸員）
5	谷戸	農業を知る講座	令和5年7月25日から 令和6年2月20日 8時から10時、または 9時から11時、または 10時から12時 全24回	延べ657人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度には30年を迎える農業を知る講座では、農作業と収穫体験、データに基づく農薬や肥料の基礎知識の習得を通して、農業と野菜作りの大変さを実感するとともに、都市農業の問題や西東京市の農業の実像を学ぶことができた。</li> <li>・各講義のアンケート（計4回）を実施し参加者のニーズを分析した。</li> <li>・受講生による日誌、各種アンケートと講師の資料を含めた『記録誌』を作成し、参加者同士で共有し、理解を深めた。</li> </ul>	保谷隆司（市内農業経営者、西東京市農業委員会会長） 小野紀之（環境カウンセラー、一般社団法人地域パートナーシップ支援センター理事長） 西東京市産業振興課職員

6	谷戸	子育て中の人のための講座 ゆったり軽やかに！ 子育てを楽しもう	令和5年9月21日から 令和6年2月22日 木曜日 *10月25日 水曜日 *11月18日 土曜日 (公開講座) 10時から11時45分 全16回	延べ143人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワークと発表でそれぞれの思いを共有することで他者の様々な考えに触れることを通して、子どもも様々な個性を持つ一個人として尊重されるべき存在であることを再確認した。</li> <li>・命、身体について考え、更には、社会生活の中で知らず知らずのうちに持っている自身のジェンダーへの囚われに気付くことで、子どもの成長への心構えや適切にアドバイスができるかなど自分事として考えられるように話し合いの機会を持った。</li> </ul>	<p>中田利恵 (タッピングタッチ協会認定インストラクター)</p> <p>細田恭子 (いのちのお話「くもといっしょに」主宰・帝王切開カウンセラー)</p> <p>四本裕子 (東京大学教授心理学者)</p> <p>樋口綾子 (日本アロマ環境協会インストラクター)</p> <p>滝村雅晴 (パパ料理研究家)</p> <p>南雲みさ (日本ハーバリウム協会認定講師)</p> <p>鈴木はな (2015年 ㈱ランドホーを創立)</p> <p>安藤奏汰 (子どもむけ体操教室の先生をしながら当事者として LGBTQの啓発活動にも積極的に努めている)</p>
7	谷戸	インクルーシブな社会をめざす講座・親子講座 みんなで楽しくアート！ 新聞紙ピラミッドをつくろう	令和6年2月17日 土曜日 14時から16時	16人	新聞紙を丸めた棒で基本となる四面体を作り、それを組み合わせて大きなピラミッドをみんなで協力して作った。	山田修平 (立正大学社会福祉学部子ども教育福祉学科准教授、NPO 法人東京学芸大こども未来研究所理事)
8	ひばりが丘	教養講座 韓国文学を入りに学ぶやさしい近現代史入門	令和5年8月27日から 11月19日 日曜日 14時から16時 全4回	延べ67人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの作品が翻訳され話題になっている韓国文学を切り口に、日本の植民地時代から現代に至るまでの歴史を学ぶことで、隣国への理解を深めることができた。</li> <li>・朝鮮半島の歴史を知り、日本の歴史や世界史の中の位置付けについても新たな視点を持つことができた。</li> </ul>	<p>神谷丹路 (翻訳者、日韓現代史)</p> <p>斎藤真理子 (翻訳者、ライター)</p>

9	ひばりが丘	高齢者の課題を考える講座 老いる不安を生きる希望へ ～認知症へのあたらしいアプ ローチ～	令和5年9月1日か ら 11月24日 金曜日 14時から16時 全4回	延べ50人	・認知症に対するネガティブな思い込 みを払拭し、超高齢化社会に対応する 新たな認識を深めることができた。 ・住み慣れた地域で暮らし続けられる まちづくりに向け、具体的な取組み を話し合い、実践につなげた。	永田久美子（認知症介護研 究・研修東京センター研究部 長） 西東京ゆとりの会会員 山崎巖（演出家） 緑町地域包括支援センター職 員
10	ひばりが丘	【共催事業】 子どもの課題を考える講座 経験者が語る 私の不登校とそ の後 ※「不登校情報ネットワーク ハートラインにしとうきょう」 との共催	令和6年1月28日 日曜日 13時から16時	38人	・不登校を経験した当事者や不登校新 聞の取材から得た話を聞くことによっ て、学校に行けない子どもに対しての 関わり方や、何ができるのかを考える 機会とした。 ・「不登校情報ネットワーク ハート ラインにしとうきょう」を中心とした 親の会など、悩んでいる親をサポート する場が地域にあることを知ってもら い、交流会をつながる場とした。	茂手木涼岳（NPO法人全国不登 校新聞社編集長） 不登校ラボメンバー3名
11	保谷駅前	【共催事業】 地域連携講座 落語っておもしろい！ あなた もハマる落語の世界 ※保谷落語愛好会との共催	令和5年7月30日 日曜日 8月11日 金曜日 12月11日 月曜日 令和6年2月11日 日曜日 13時30分から16時 4回	延べ97人	保谷駅前公民館の利用団体である保谷 落語愛好会のみなさんに協力してもら い、落語についての基礎知識（ときを 現代の時間に直すと…など）の説明 や、扇子・手ぬぐいを箸やはがきに見 立てての使い方の実演のワークショッ プを通して、落語の面白さを体験。こ どもにも楽しめる落語の実演を通し て、参加者と一緒に落語やワーク ショップを楽しめることが出来た。	保谷落語愛好会 林家久蔵師匠（西東京市PR親 善大使）
12	保谷駅前	【共催事業】 地域講座 瞽女（ごぜ）唄が聞こえる ※高橋家屋敷林保存会との共催	3月7日 木曜日 ①11時から12時 ②14時から15時 2回	延べ48人	1970年代まで活躍していた瞽女とい う芸能集団が培って来た芸能の復刻を、 旧高橋家の母屋で再現し、下保谷に昭 和の初期に大泉出身の瞽女が来ていた という史実に基づき、演者、参加者と もに歴史の追体験をした。	小関敦子（越後瞽女唄伝承者 「萱森直子」に師事。同氏主 宰「さずきもんの会」所属。 2019年映画「瞽女GOZE」に 「瞽女唄指導者」で参加）